

はじめに

環境教育・環境学習とは何でしょうか？

一言でいえば、『持続可能な社会』の実現のため、「体験を通じて、自ら考え、調べ、学び、そして行動する」というプロセスを重視した教育・学習になると思います。

気候変動(地球温暖化)や熱帯雨林の消滅、オゾン層の破壊など、地球規模の問題が生じています。私たちはこうした問題に、どう向き合えばいいのでしょうか？ 一方、足元の私たちの沖縄でも、どんな沖縄の海や山を未来の世代に渡すのでしょうか？

環境教育の出発点は、今の私たちの「在りよう」に気づくことだと思います。今あることや今あるもの、いいこともあるでしょうし、これは困ったということもあるでしょう。このような「在りよう」を知ることから、また地域のことを知ることから、環境教育を始めたいと思います。またそのことから、地球規模の問題を考えていきたいと思います。「急がば回れ」、「急がば地域から」です。

この冊子は、小学校での環境教育の実践に役立つように作られましたが、その他、地域での環境学習などでも参考にしてもらえらるような、具体的なアクティビティで組み立てられています。

学校の先生方をはじめ、指導するみなさんにこの冊子が活用され、環境学習の定着に役立つことを願ってやみません。

